

① 県の観光客が過去最多に！

24年7月19日掲載

今回は、山口県の観光客数の推移と観光客の増加に向けた取組を紹介します。

5月に公表された「山口県観光客動態調査」は、本県の観光客の動向を把握し、観光施策を進める上での基礎資料とするため、昭和44(1969)年から実施されています。

ここ10年間の観光客数の推移をみると、全体的に右肩上がりの増加傾向となっています。

平成14(2002)年から18年の間は、2280万人から2530万人台で推移しています。この期間は、14年に日本航空の山口宇部空港への就航、15年に新幹線のぞみの停車、18年には「国民文化祭」の開催などにより、観光客数は増加しています。

平成19(2007)年から21年の間は、原油高や景気の低迷、天候不順などの影響を受け2400万人台にとどまりました。

しかし、平成22年には、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放映や下関市の「海響館ペンギン村」のオープンなどにより、観光客数は2680万人を超えました。昨年は、「山口国体・山口大会」の開催効果や、「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」プレキャンペーンの実施などにより、過去最多の2700万人を超える観光客数となりました。

県では、現在「年間観光客3千万人構想」の実現に向けて、「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」を全県規模で実施しています。「萩往還～語り部ガイドウォークツアー」や大鉄道展をはじめとする「やまぐち鉄道の旅キャンペーン」等々、県内各地で楽しい企画がめじろ押しです！皆さんも夏の熱い思い出を作るため、ぜひ家族や友人と県内をまわって、山口県の魅力を再発見してみませんか。

